

# CAMBRA™ 定期管理予防セミナー 【CAMBRA™ 診療フロー編】

これからの予防歯科のスタンダード  
全米トップシェアのう蝕管理  
「キャンブラ」を学ぶ、導入する。



日本へ、地域へ、  
これからの歯科医療プログラムを。

全米歯科大学65校中、40校が採用！  
世界基準のう蝕管理方法。



CAMBRA™とは「Caries Management By Risk Assessment ~ リスク評価に基づくう蝕管理 ~」の略名で、予防歯科の発達するアメリカ、カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部長フェザーストーン名誉教授が提唱するう蝕予防法です。う蝕は「う蝕を誘発する疾患指標とリスク因子からなる病態因子」と「う蝕を遠ざける防御因子」の2つのバランスによって発生。CAMBRA™はエビデンスに基き、過去のう蝕経験や唾液量等から個々人のう蝕リスクを評価し、それに応じたリスクを下げる為の処置がすべてプロトコル化されています。全米でも広く普及しており、米国65校の歯科大学中、40校が教育プログラムとして導入。また2013年より全世界に向けて放送されているオンラインコースでは30カ国から8,000人が受講。これからの日本の予防歯科診療に欠かせない、世界基準のう蝕管理方法です。

CAMBRA™の考え方やリスクアセスメントの基礎を学ぶ「What's CAMBRA™編」とCAMBRA™を臨床に应用した「CAMBRA™臨床編」「CAMBRA™診療フロー編」がごございます。

## 【CAMBRA™ 診療フロー編】

CAMBRA™を取り入れるにあたり、院内のスタッフに理解してもらえなかったり...  
患者さんに理解してもらえず断られたり...  
医院のシステムとして上手く取り入れることができずに悩んでいませんか？

麻生歯科クリニックの歯科衛生士がCAMBRA™を用いてどのようにう蝕予防管理しているのか？  
カリスクリーンをどのように活用しているのか？

受付から予防計画まで、CAMBRA™を取り入れた診療フローをライブデモでお伝えいたします。



# 1.10 (木) in 東京

# CAMBRA™ 定期管理予防セミナー

日本へ、地域へ、これからの歯科医療プログラム

## CAMBRA™を取り入れた診療フロー/実践

- ・ 電話受付
- ・ 医療面接
- ・ 唾液検査とCariScreenの実際
- ・ X線写真10枚法・口腔内写真の意義
- ・ 口腔内診査
- ・ う蝕の診断と治療介入
- ・ リスク評価の方法
- ・ CAMBRA™予防計画の流れ



※当セミナーでご紹介するフローは、書籍『BALANCE』の著者でもあるキム・クーチ先生、彼のオフィスの歯科衛生士にも指導を受け、推奨されています。

## 【CAMBRA™診療フロー編】

### 日程

2019 1/10 木 10:00~16:30 東京 株式会社 ヨシダ 定員 20名  
東京都台東区上野7-6-9

### 受講料

全ての職種 27,000円(税込)

### 申込方法

<http://www.yoshida-dental.co.jp>

- Web** ①ヨシダホームページ「YK CAMBRA全国セミナー」申込ページよりお申し込みください。  
②受講料のお振込み確認後、正式受付とさせていただきます。  
※ホームページからお申し込みをいただきますと参加費は10%off!

**FAX** 下記申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

**FAX.03-3841-8204**



お問い合わせ先: 株式会社ヨシダ(村岡) TEL.03-3845-2931

※【CAMBRA™診療フロー編】を受講いただく前に【What's CAMBRA™】の事前受講をお勧めいたします。

## 【CAMBRA™診療フロー編】申込書

2019. 1. 10 (木) 東京

<b>受講者氏名</b> ① 歯科医師 〇 _____ 〇 _____ 〇 _____ 歯科衛生士 その他 ※該当に〇をつけてください。	〇 自宅 〇 勤務先
	TEL: ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) FAX: ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
	〇 勤務先医院名
② 歯科医師 〇 _____ 〇 _____ 〇 _____ 歯科衛生士 その他 ※該当に〇をつけてください。	E-mail
③ 歯科医師 〇 _____ 〇 _____ 〇 _____ 歯科衛生士 その他 ※該当に〇をつけてください。	お取引先歯科ディーラー _____ 担当者 _____
※通信欄	

ご提供いただいた個人情報につきましては、弊社事業に関連する情報、製品に関する情報の提供等、弊社インターネットホームページに掲載した個人情報保護方針「利用目的」の範囲内で利用させていただきます。